



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe
〒350-0046 川越市菅原町7-16

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 21-6

12月号

発行 2019年12月13日

Chartered 1998

クラブ会長主題 「20周年を次の20年へ!!」
 国際会長主題 “Building Today for a Better Tomorrow”
 「より良い明日のために今日を築く」
 アジア太平洋地域会長主題 “Action” 「アクション」
 東日本区理事主題 「勇気ある変革、愛ある行動！」
 “Innovation with courage, action with heart!”
 関東東部部長主題 「紡ぐ ワイズのこころ」

会長 吉野 勝三郎
 副会長 松川 厚子
 会計 山崎 純子
 書記 利根川 太郎

12月の聖書

知恵ある者と共に歩めば知恵を得、愚かな者と交われば災いに遭う。
 (箴言13章20節)

He who walks with the wise grows wise, but a companion of fools suffers harm.
 (Proverbs 13:20)

2019年11月の統計 (11月30日)

在籍11名 出席者8名

出席率 72.7%

埼玉3クラブ合同例会を開催

参加者32名

2019年12月 例会予告

日時: 12月21日(土) 午後17:30~19:30

当日は、国際協力街頭募金を川越駅西口で行います。参加できる方は16:00に川越センターに集合してください。

場所: 川越YMCA
 リーダーを招いてのクリスマス例会

会費: 3,000円

備考: プレゼント交換用に1,000円程度の贈り物を持参してください。

11月例会報告

利根川 太郎

2019 埼玉3クラブ合同例会として実施しました。今年度は川越クラブが担当し、川越のレストラン「エルミタージュ」を会場に、合同例会、関東東部部長公式訪問、卓話、川越クラブ新会員入会式と盛りだくさんの内容で開催いたしました。総主事をはじめ32名の皆様にご参加いただき、たいへん盛会でした。以下、概要を報告します。

- ・開催日時 11月30日(土) 15:00~18:00
- ・開催場所 レストラン「エルミタージュ」
- ・参加人数 32名



合同例会は、開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条のあと聖書朗読・祈祷を川越ワイズの山本剛史郎メンが務め、担当クラブの川越クラブ会長吉野勝三郎メンのあいさつ、埼玉YMCA総主事小谷全人様の来賓あいさつとプログラムを進めました。

卓話

演題：「フードバンクの働きと子ども食堂」

講師：黒田和代氏

NPO法人フードバンクネット西埼玉理事
卓話要旨

－食品ロスと貧困問題が活動目的の両輪
－年間 648 トンもの食品ロスが、各家庭及び事業所で発生している。この量は、毎日、日本人全員がごはん一杯分を捨てていることになる。

－SDGs(Sustainable Development Goals)には 2015 年 9 月に世界中の政府が合意した。SDGs には、17 の目標があるが、その中でも、

1. 貧困をなくそう！
2. 飢餓をゼロに！
3. すべての人に健康と福祉を！
4. 質の高い教育をみんなに！
7. エネルギーをみんなに
そしてクリーンに！
11. 住み続けられるまちづくりを！
12. つくる責任 つかう責任！

などに密接に繋がる活動を行っている。

－アメリカでは、教会の活動として始まったが、日本では、2002 年に活動が始まり、現在では日本全国 100ヶ所を超える拠点で活動が行われている。

－フードバンクネット西埼玉は 2015 年 12 月から活動している。

－今では、宅急便で食料を届けているので、その経費を捻出するのが難しくなっている。



概要を記しますと以上のようなお話を伺いました。実際に活動されていることから、真に迫る卓話でした。川越クラブでは、今年から、新しいCS活動として、伊勢さんを中心に、“子ども食堂”の立ち上げを計画し、すでに3回のトライアルを行いました。今回の卓話は、そのことと密接に関係するテーマであり、これからの活動に大変有意義な時間となりました。

なお、頂いた黒田さんの名刺には、社会福祉士、精神保健福祉士という肩書も記されていますので、そのような知識と経験もこの活動に大いに役立っているのだらうと思いました。

APAY大会参加報告

報告者：富井佳織さん

埼玉YMCAボランティア・リーダー

所沢センターで、“りんごリーダー”のニックネームでボランティア・リーダーとして奉仕している富井さんは、今年の APAY(Asia Pacific Area Youth)に参加したことを契機に、JICAの職員に応募し、アフリカのモザンビークに派遣されることになりました。

現地への出発を2日後に控えた忙しい中、今回の例会で話をして下さいました。

埼玉YMCAの関係では、フィリピンのワーキングキャンプにも参加され、今回は今までの仕事を辞めて、新しい任務に挑戦されました。

私たちのワイズが支援するYMCAでのボランティア・リーダーとしての奉仕がこのような形で実ったことは本当に喜ばしいことです。どうぞ、健康と安全が守られて、2年間の任期を終えて帰国された折には、ぜひ現地での体験を話してもらいたいと思います。

APAYでの印象は、韓国からの参加者との交流のことや、東山荘での大会はペーパーレスへの取り組みとして、全員がタンブラーを持参して参加したこと、事前の代々木オリンピックセンターでの2日間の思い出などを語ってくれました。

Von voyage!! See you again!! モザンビークはポルトガル語だそうです。



生川美樹さん入開式

司式 吉野勝三郎 (川越クラブ会長)

立会 田中博之 (アジア太平洋地域会長)

金丸満雄 (関東東部部長)

徳永浩一 (会員増強事業主査)



・ その他連絡・報告

- ・次期関東東部部長は所沢クラブから選出していただく。
- ・2020年3月に計画している川越クラブバス旅行は、有限会社「黒子」に手配を依頼する。
- ・2020-2021年川越クラブ役員
会 長 吉野勝三郎
副会長 松川厚子
書 記 利根川太郎
会 計 山崎純子

川越ワイズメンクラブへの入会に際して (生川美樹さん抱負)

私は、高校卒業後アメリカへ留学をしました。その当時、アメリカには、友人も知人もおらず、全く見知らぬ国で、言葉もよくわからない状況で、留学生生活をスタートしました。

その留学生活中、何よりも有り難かったことは、感謝祭やクリスマスなど、家族と過ごす休暇に、アメリカに帰る家のない私を家族の一員として迎えてくれた人達が、沢山いたことです。

いつかその時に受けた親切に対して、私も同じようなことが出来る様になりたいと思っていました。

これまでに、いくつかのワイズメンのイベントに関わらせていただき、貴重な経験をさせて頂きました。今後は、ワイズメンの一員として、社会に貢献して行けるように、努めていきたいと思えます。

皆様のご指導ご鞭撻いただきますよう、どうぞよろしくお願い致します。

生川美樹

レガシーツアー

利根川 恵子

ワイズメンズクラブ創業者

ポール・ウィリアム・アレキサンダー の生地を尋ねて

2019年11月14日から17日まで、アメリカ・オハイオ州トレドで、RDEサミットが開催され、通訳として参加させていただきました。

今までは次期理事研修会は韓国地域とアジア太平洋地域が合同で行っており、場所もアジア太平洋地域と韓国とで交互に催していました。今年は国際本部の方針で、全世界から次期理事を集めて研修会をすることが決まりました。

RDEサミットの内容については、参加なさった板村次期理事が理事通信などでご報告なさることになっています。私はここで、2日目、11月15日に行われた、感慨深い「レガシー・ツアー」についてご報告いたします。

2022年がワイズ100周年ということ

で、それを記念するために「レガシー・プロジェクト」が始まっています。そのプロジェクトの一環として、ポール・ウィリアム・アレキサンダーの墓石を建てることができました。今までも何度かご遺族に打診をしたそうですが、ご本人の遺言なので要らないと固いご辞退だったそうです。今回100周年という節目だからでしょうか、ご遺族のご了解が得られました。

当日は、お孫さんにあたるアラン・オットウェルさんご夫妻も同行し、まずお二人がお墓に献花をして、その後参加者が続きました。真新しい墓石が赤いバラの花で囲まれた時には、天国で、きっと微笑んでくださっているという気持ちになりました。

続いて、トレド市の計らいで、市のスーペリア公園を「ポール・ウィリアム・アレキサンダー公園」と改名することになり、入口のプレートの除幕式が公園で行われました。寒い日でしたが、トレド市長、地元選出市議会議員、公園管理局長も駆けつけ、地元のテレビの取材もあり、賑やかな除幕式となりました。今後この公園は補助金でファミリー・ネイチャーパークとして整備されるそうです。

その後、ポール・ウィリアム・アレキサンダーが生まれた家、育った家、結婚して住んだ家を見て、通っていた教会(お葬式もこちらで行われた記録を拝見)で礼拝がありました。その席上、お孫さんのアンディさんから祖父の思い出が語られ、とても穏やかで家族思いであり、堅実で真摯なお人柄が偲ばれました。アランさんはよく図書館に連れて行ってもらい、そこが遊び場だったそうです。その結果本が好きになり、それをポールさんもお存知で、自分の本をすべてアランさんに遺したそうです。

そのほかにも、働いていた裁判所、初めてワイズメンズクラブの例会がもたれた場所などにも立ち寄り、ワイズメンズクラブの創業者に思いを馳せ、100年を偲び、今後のワイズ活動への決意を新たにしたいツアーでした。それにしても、この1年半、セントルイスから6時間かけて何度もトレドを訪問し、様々な資料を発見した国際歴史家のデビー・キャンベルさんには心から敬意を表します。



中央赤い帽子のお二人がアラン・オットウェルさんご夫妻。その左が歴史家のデビーさん。



ポール・ウィリアム・アレキサンダー公園のプレートをはさんで、ジョース国際書記長（左）とグレーター・トレドYMCA副会長のトフトさん。



教会で祖父の思い出を語る孫のアラン・オットウエルさん



初めてのワイズメンズクラブ例会がもたれたYMCA跡地のプレートを囲んで。板村東居本区次期理事（左）と古田西日本区次期理事とともに。

YMCA 報告

河合 今日子

【クローバー&グリーン秋季キャンプ開催】

11月16日（土）～17日（日）の2日間、気持ちの良い秋晴れの中、小川げんきプラザにてクローバー&グリーンキャンプを行いました。

「YMCAでは、失敗しても誰も笑わないから、安心してチャレンジができる」と話してくれたメンバーがいました。この言葉の裏には、学校や社会で自分らしく過ごせない厳しい現実が存在しています。ありのままの自分が受け入れられ、自分の良さに気づき、ポジティブに自分の人生を歩んでいけるようなきっかけに繋がるYMCAのキャンプを開催することができました。大型バスを継続的に支援していただいているダ

イムラー社様にも心から感謝いたします。

【イタリア大使館にてPizza Workshop開催】

11月30日にイタリア大使館でのワークショップが開催されました。

当日は、YMCAの子どもたちのために、特別に大使館の中をご案内いただき、大使夫人からイタリアの文化を学び、シェフから本場のピザづくりを教えていただきました。

埼玉YMCAとしては、大使館との初めての協働プログラムでしたので、スタッフもメンバーもご家族も緊張しておりましたが、温かなホスピタリティの中で、すぐに打ち解けた雰囲気になり、とても良い時間を過ごせました。

最後のセレモニーでは、YMCAらしい等身大の感謝の気持ちの表し方で、子どもやスタッフが手作りで作ったものと、キャンプソング、子どもからのメッセージを送りました。



【特別支援教育の支援金からガスファンヒーターを購入いたしました】

以前から使っていましたガスファンヒーターが30年物のため、今年度の支援金から新しい物を購入させていただきました。ガスはエアコンに比べてすぐに暖まり、居心地が良いためか、事務所前で待つ子どもたちも知らないうちに長居するようになってきました。皆様のご支援に感謝いたします。



【川越市民子どもクリスマス会開催】

12月8日に第45回を迎えた川越市民クリスマスチャリティーコンサートがウェスタ川越で開催されました。YMCAでは、コンサートの子どもクリスマスを同時開催し、今年は52名の子どもたちをお預かりしました。

【フィリピンワークキャンプのご案内】

2019年2月10日(月・祝)～2月24日(月)の14泊15日でフィリピンワークキャンプを開催します。昨年度は3名が参加し、言葉の壁に苦戦しながらも現地フィリピン人キャンパーとの絆を深め、たくさんの気づきを得て帰国しました。今年度もぜひ、ご家族やお知り合い等で興味のある方がいらっしゃいましたらお声がけください。ご質問等ありましたら、担当布目(ぬのめ)までお願いします。

【国際協力街頭募金ボランティア募集】

川越センターでは、今年度も街頭募金を行うことになりました。以下の日程で行いますので、街頭ボランティアのご協力をお願いいたします。

日時：2019年12月21日(土)16:00～17:00

集合解散場所：川越センター

【休館のお知らせ】

今年も大変お世話になりました。

下記の期間中は、冬休みのため休館となっております。

また、冬休みの前後は、外出プログラムが多いため開館時間が異なります。お手数ですが、ご来館前に一度お電話いただきますようお願いいたします。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。

良いお年を。

冬休み休館：2019年12月30日(月)～2020年1月5日(日)

セーラムクラブブリテンから

セーラム・ファミリーY・ワイズサービス・クラブ・ブリテン12月号

- 12月8日にクリスマスディナーの例会がありました。プログラムとして Willamette Master Chorus とあります。これは35年の歴史を誇るプロ・アマを問わず、オーディションを受けて合格した人のみがメンバーになれる合唱団です。現在団員は75名とのこと。きっと素晴らしいクリスマス・キャロルを聴きながらのディナーであったことでしょう。
- 今後の予定：2020年1月3日役員会
1月18日が会員宅での新年第1回の例会。

3. メンバーの近況：クリフ&ジョイス・ローレンス夫妻とフレッド・パトロンさんがホノルルへ旅行。パール・ハーバー、パンチボールド国立墓地への訪問やノース・ショアでのサーフィンを楽しんだとの報告。クリフさんとフレッドさんはダイヤモンド・ヘッドのクレーター・ハイキングもしたそうです。
4. 近隣YMCA、ワイズのニュース：ヘレナYMCAがヘレナ教育委員会とパートナーシップを結び、貧しい子どもたちのために、冬物コート回収を開始。
5. チャプレン・コーナー：
マーセッタ・セヴァーソン
驚くべき神の子よ
あなたは男性に信じられていなかった女性に真実をもたらしました。
あなたは信用されていない人、無視されている人の声です。
どうか私たちを最も真実な真実に向かって導いてください
なぜならば、もしそのような場所があるとなれば、その場所こそがあなたがいるところだからです。
アーメン
(コリミエラ・コミュニティ・ディリー・プレイヤーから)

シアトル便り

森下 千恵子

～ハロウィン・サンクスギビング～

アメリカの秋はイベントが目白押しです。9月1日はレイバーズ・デーで祝日、そして3週間ぐらいステイトフェアの時期があり、10月末はハロウィン、11月11日はベテランズ・デー、11月末はサンクスギビング、あとはクリスマスを残すのみです。

今週は水曜日から学校とスティ先で三日連続サンクスギビングパーティです。学校も休みです。ハロウィンはお休みではありませんが、9月末からハロウィンまでの一か月はまさにパンキンオレンジ色の雰囲気になります。ハロウィンが終わるともうモールはクリスマス商品が並びます。ハロウィンの翌日にスティ先でクリスマスソングをかけられたときは「まるで日本のクリスマス商戦と同じだ。」と思いましたが、そうですあまり日本と変わりません。ハロウィンとクリスマス間にサンクスギビングがありますがこちらは学校お休み、多くの会社もお休みですが翌日はブラックフライデーという年に一度のビッグセールです。日本でも始まったと聞いて驚きです。

ハロウィンは私も仮装しましたが、この季節は各家々でハロウィンの飾りつけをするので散歩

するのが楽しみです。車の助手席に骸骨を乗せた紳士とか本当に遊び心満載です。ハロウィン当日はグローサリーストアなどでマレフィセントの衣装をしたカップルがお買い物していたり、オオカミさんがバスに乗っていたり、念入りでびっくりです。この期間は郊外の農家でトウモロコシ畑を迷路にしたコーンメイズに行ったり、ホーンテッド・フォレスト（夜の森がお化け屋敷コースになる。この収益はすべてチャリティです。）を楽しんだりします。相変わらず英語の上達しない私はハロウィングッズの店で何回も聞き返してしまいます。つまり寄付の話なのですが、こういう季節はお釣りを慈善事業などに寄付しますかということを知られます。ハロウィンが日本でも流行るのはいいことだと思います。出来ればヤングアダルトが東京の街中で集まるのではなくアメリカのように子供からお年寄りまで楽しむのがいいかなと思います。

ハロウィンパーティの衣装



コーンメイズでまさにコーンまみれで遊ぶ子どもたち



学校のサンクスギビングパーティ
各国の料理が並びます

そしてこういう行事は慈善事業が一体になっています。今週はサンクスギビングでしたが、学校ではフードドライブ（フードバンクと同じです。）のプレゼンテーションを授業の課題にし、寄付を募りました。会社でもしているようで、私のホームスティ先のミンディも会社に缶詰めを持って行っているようでした。日本でいえば歳末助け合いみたいな感じでしょうか。

さて、このふたつのイベントで私はホームスティ先の家族のほぼ全員とお会いしました。ミンディとパートナーのノエルと一緒に暮らしていますがお互いバツイチ（すみません。言葉が

悪くて）で結婚していません。

ミンディの両親は彼女が10歳の時に離婚しています。お母様のジャンと私は仲良しです。

お父様はこの夏2回目の結婚を解消して今は新しいガールフレンドと一緒に暮らしています。ミンディは「千恵子、信じられないわ。ミドルエイジクライシスっていうのよ。26年間も連れ添ったのよ。父はどうしちゃったのかしら。」と嘆いています。こちらのカップルにはサンクスギビングでミンディのお兄様の家でお会いしました。私は不謹慎にもこのパーティにお父様カップルが来ると聞いて「finally(ついに)」と言ってしまいましたが、実際にお会いしたお父様のガールフレンドのメグは非の打ちどころのない素敵な人でした。品のある美しさと社交性があり（予め私の名前を覚えてきていました）前のご主人はネイビーの将校クラスだったらしく長い海外生活の経験から外国人の私を気遣ってくれます。こういう人にはあまり会ったことがありません。元妻のジャンも「メグはいい人ね。」などと言っています。

ついでに言いますと、前日はノエルの前の奥様の家でサンクスギビングパーティでした。陽気なフィリピン系の家族で親類が集まり超フレンドリー。元妻のローズは再婚してまして夫のデニスとノエルは仲がいいです。子どもたちも双方の連れ子やその他で誰が誰やらです。因みにノエルのお子さんたちはアイドル系の超イケメンで学業もご優秀なお子さんたちですが、お二人ともゲイです。彼らとは仲良しですが時折みせるオネエなしぐさが妙に可愛いので笑ってしまいます。

パーティに行くと同性カップルにシングルマザー等色んな人達に会います。

先日はミンディの誕生日を祝いにお父様の2番目の奥様が家に一晚泊りがけできました。もはや離婚したので家族ではないのですがミンディの気の使いようは大変で「彼女、neat freak(潔癖症)なの」といってまるで姑を迎えるお嫁さんみたいにお掃除していました。大変に気難しい方でミンディの気の使い方も並みではありません。後で私が「貴女の家なのに」というと「彼女は私より目上だから。」などと言います。「日本だったらもはや家族ではないとも言えるけど。」と言ってみるとこれにはノエルもびっくりして何てこと言うんだという顔をされてしまいました。アメリカはかように多様性と人間性に柔軟なお国であります。



ハロウィンパーティの翌日誕生日を祝ってもらいました。
ホームスティ先のミンディとノエルと一緒に